

自動車局審査・リコール課リコール監理室
 TEL：03 - 5253 - 8111 内線 42354
 アドレス：http://www.mlit.go.jp

リコール届出一覧表

リコール届出日：平成 29年 8月 4日

リコール届出番号	外-2461	リコール開始日	平成29年8月4日
届出者の氏名又は名称	アウディジャパン株式会社 代表取締役社長 齋藤 徹		
	製作国：イタリア共和国 製作者名：アウトモビリ ランボルギーニ社 問い合わせ先： ランボルギーニ カスタマーセンター (フリーダイヤル) 0120-988-889 (アドレス) http://www.lamborghini.com		
不具合の部位 (部品名)	燃料蒸発ガス発散抑止装置 (燃料制限通気バルブ)		
基準不適合状態にあると認める構造、装置又は性能の状況及びその原因	①燃料蒸発ガス抑止装置において、燃料タンク内の蒸発ガスの吸入を制御するバルブ (燃料制限通気バルブ) の制御のしきい値が不適切なため、燃料満タン時に特定の運転操作等を行うと燃料が液体のままキャニスターおよびパージバルブに侵入することがある。そのため、燃料によりパージバルブが損傷して警告灯が点灯し、キャニスターの掃気ホースから燃料または、燃料蒸発ガスが漏れるおそれがある。 ②燃料蒸発ガス抑止装置において、燃料タンク内の蒸発ガスの吸入を制御するバルブ (燃料制限通気バルブ) の制御のしきい値が不適切なため、燃料満タン時に特定の運転操作等を行うと燃料が液体のままキャニスターに侵入することがある。そのため、キャニスターの掃気ホースから燃料または、燃料蒸発ガスが漏れるおそれがある。		
改善措置の内容	①全車両、燃料制限通気バルブ、パージバルブおよびフューエルキャップを対策品に交換し、キャニスターおよび漏出検出ポンプを新品に交換する。また、3ウェイバルブを追加して燃料蒸発ガス排出経路を変更し、エンジンコントロールユニットのプログラムを変更する。 ②全車両、燃料制限通気バルブを対策品に交換し、キャニスターおよび漏出検出ポンプを新品に交換する。また、3ウェイバルブを追加して燃料蒸発ガス排出経路を変更する。		
不具合件数	0件	事故の有無	なし
発見の動機	イタリア本社からの情報による。		
自動車使用者及び自動車分解整備事業者に対する周知させるための措置	<ul style="list-style-type: none"> ● 自動車使用者：ダイレクトメール、電話及び電子メール等で通知する。 ● 自動車分解整備事業者：日整連発行の機関誌に掲載する。 ● 対策実施済車には、運転者席側ドア開口部のドアロックストライカー付近に外-2461のステッカーを貼付する。 		

車名	型式	通称名	リコール対象車両の車台番号 (シリアル番号) の範囲及び輸入期間	リコール対象車の台数	備考
ランボルギーニ	ABA-47L539	「アヴェンタドール LP700-4」	ZHWECL1473CLA00157～ZHWET3ZD1HLA05571 平成23年8月29日 ～ 平成28年11月16日	506台	①
		「アヴェンタドール LP720-4」	ZHWET3ZD1HLA05572～ZHWET3ZD1HLA05975 平成28年11月2日 ～ 平成29年2月7日	63台	②
	「アヴェンタドール LP750-4」		(輸入期間の全体の範囲) 平成23年8月29日 ～ 平成29年2月7日	計 569台	
	(計1型式)	(計3車種)			